

住友大阪セメントと産業団地整備で協定

市は新たな雇用の創出を図るため、大越町上大越にある住友大阪セメント社工場跡地の約16ヘクタールを7億8千万円で取得し、12月26日、住友大阪セメント(本社・東京)と産業団地の整備に関する協力協定を結びました。

締結式は新庁舎で行われ、富塚市長と関根福一社長が協定書に署名しました。

協定では住友大阪セメント社が平成28年2月までに残存建物の解体を終了させるとともに、企業誘致に協力することになっています。関根社長は「工場跡地が産業団地に生まれ変わり、復興に役立てていただけるのは大変うれしいことです」と述べ、富塚市長は「新たな産業団地は雇用の確保など市の発展に大きく貢献できる。責任を持って企業誘致を進めたい」とあいさつしました。

同工場は昭和38年に操業し、従業員約100人でセメント生産を行っていましたが、平成12年3月に閉鎖しました。

市は平成29年度までの4カ年で、産業団地の造成を進めます。造成後の販売面積は、約12ヘクタールを予定しています。

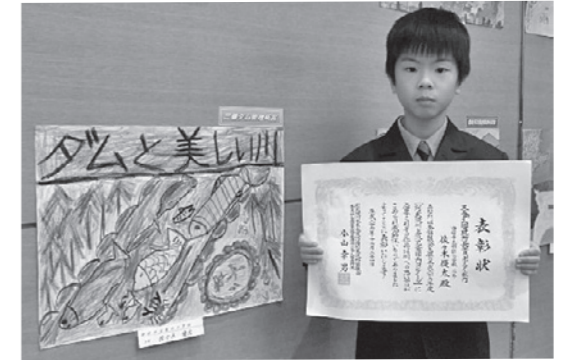


佐々木優太さんが図画で所長賞

船引小学校3年の佐々木優太さんが、阿武隈川上流児童図画コンクールのポスター部門で三春ダム管理所長賞を受賞しました。

表彰式は12月21日、福島市の福島テルサで行われました。

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会主催のこのコンクールには、県内の小学生から277点の応募がありました。全ての作品において、自分たちが住む地域の自然や生活環境、地球環境を守ることに對する想いが感性豊かに描かれていました。



都路町でファミリーマートが開店



昨年4月1日に避難指示が解除された都路町に初めてのコンビニエンスストア「ファミリーマート田村都路店」が1月22日、古道字戸田平地内に開店しました。

市と復興庁が用地を確保・造成し、市と復興庁の要請でファミリーマート本部が運営します。

店舗敷地内には18台の駐車スペースを設け、店内には10席の休憩所を設置するなど、訪れた人が気軽に利用しやすい店舗になっています。

店舗は24時間営業で、利便性の向上により帰還意欲が高まるとともに、夜の都路町が明るくなることで防犯や安全面での貢献も期待されます。

美味のクリスマスケーキ



クリスマスケーキを作るお菓子づくり教室が12月23日に文化の館ときわ調理室で、午前と午後の部の2回、開かれました。

昨年に引き続き、今回も船引町在住の遠藤とく子さんの指導で、スコープケーキとスノーマンクッキーを作りました。参加した21人の受講生は出来栄に大満足で、おいしいお菓子に囲まれたクリスマスを迎えました。

重要文化財を守る防災訓練



船引町門沢地区にある国指定重要文化財の堂山王子神社で、防災訓練が1月18日に行われました。

地元住民と消防団員、消防署員ら46人が参加して、初期消火、放水などの訓練を行い、文化財保護への意識を新たにしました。この訓練は国や市が誇る大切な財産である文化財を火災から守るため、毎年行われています。

東京ふねひき会がモニュメント寄贈



東京とその近県に居住する船引町出身者の東京ふねひき会が12月17日、新庁舎落成および東京ふねひき会創立25周年を記念して新庁舎の正面玄関前にモニュメントを寄贈しました。寄贈式には、東京ふねひき会の志田会長(写真右)と柳沼副会長兼事務局長、制作者の吉野ヨシ子さんが立ち会い、志田会長と富塚市長が除幕しました。

モニュメントは「夢をたくして」と題し、「花と実」をイメージしたステンレス製で、東京ふねひき会が会員168人から協賛金を募った総額180万円をもとに、彫刻家の吉野ヨシ子さんに制作を依頼し、完成させました。

一年の防火防災を誓う



市消防団の出初式が1月4日、船引公民館で行われ、副分団長以上の幹部団員約70人と関係者が出席しました。

式では富塚市長が訓示し、飛田団長があいさつしました。長谷川市議会議長と本田県議、先崎県議、伊藤田村消防署長、生田目田村警察署船引幹部交番所長が祝辞を述べ、全員が団旗に敬礼して、今年一年の防災への決意を新たにしました。

市のさらなる発展を誓う

田村市新春交歓会が1月4日、迎賓館辰巳屋で開かれました。市内の団体や企業から約200人が出席し、富塚市長が「新庁舎で職員一丸となって市民の福祉やサービス向上に取り組む」とあいさつしました。続いて吉田市商工会広域連携協議会会長があいさつし、長谷川市議会議長などが祝辞を述べました。菅野JAたむら組合長の発声で乾杯し、新年の一層の飛躍を誓い、和やかに歓談しました。

